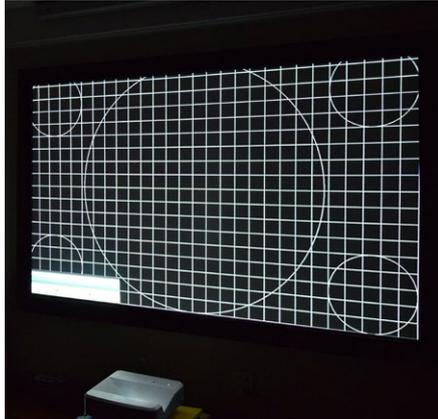


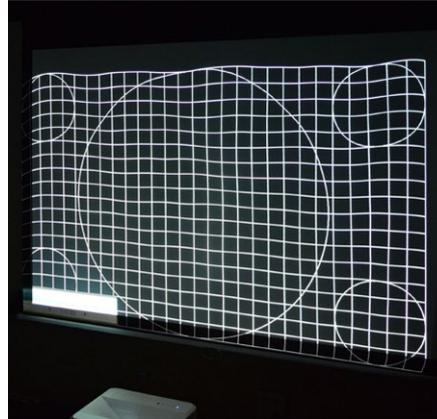
超短焦点 / 短焦点プロジェクターをご検討の際のスクリーンの選び方

超短焦点 / 短焦点プロジェクターは、スクリーンの至近距離から投写するために、打ち込み角度が大きくなり、そのためスクリーンの僅かなたるみでも、大きなゆがみとして現れてしまいます。

超短焦点
プロジェクター
投写の場合

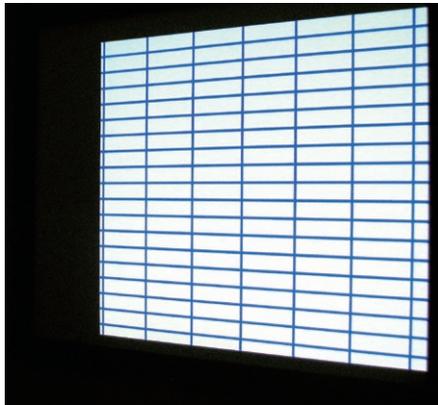


平面性の高い
スクリーン投写時

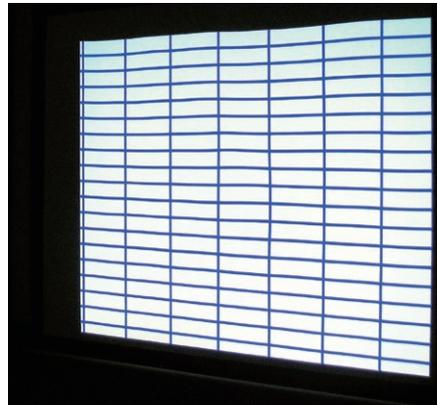


一般的な
巻取りスクリーン投写時

短焦点
プロジェクター
投写の場合



平面性の高いスクリーン
SPX投写時

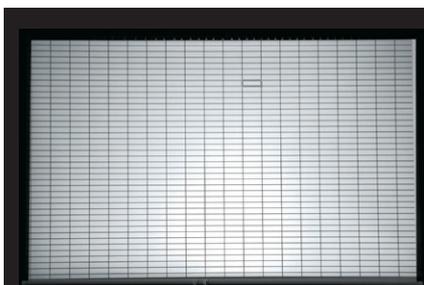


一般的な
巻取りスクリーン投写時



超短焦点 / 短焦点プロジェクターにお使いになるスクリーンを選定する際には、平面性の高いスクリーンをお選びください。ゆがみを気にすることなく、快適に映像をご覧ください。なおオーエスの超短焦点対応スクリーンには、左記の推奨マークを表示いたしました。スクリーンご選定の際の目安にしてください。

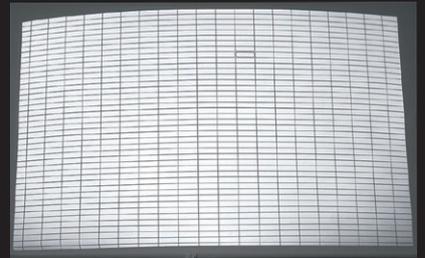
■ご注意 / 曲面黑板へのプロジェクター別投写画面比較 ※プロジェクターを水平投写した場合



標準型のプロジェクター画面



短焦点プロジェクター画面



超短焦点(ミラー式)プロジェクター画面

曲面黑板上に短焦点プロジェクターで投写した場合には、画像のゆがみが気になる場合があります。超短焦点プロジェクターは特に顕著に表れますが、これはスクリーン側の問題ではなく、投写面が曲面である事から起こる現象です。あらかじめご了承ください。

標準的なプロジェクター以外をご利用になる場合にはプロジェクター側に、曲面投写補正機能の付いたプロジェクターをご使用になる事をお勧めいたします。